



世界に希望を生み出そう

- ◆国際ロータリー会長
ゴードン R. マッキナリー
- ◆第2660地区ガバナー 延原 健二
- ◆クラブテーマ「会員増強」

本日例会 2023年 8月24日(木) 第941回

クラブ親睦例会(ノーマイカー例会)

担当：社会奉仕委員会

卓話：「インターアクト
研修旅行(福島)報告」

福田 治夫 会員

前回例会 2023年 8月10日(木) 第940回

1. 開会 会長
2. ロータリーソング「それでこそロータリー」
3. お客様のご紹介
米山奨学生 チムカさん
4. ニコニコ箱報告(小計3,000円 累計97,000円)
柳本会員 本日も宜しくお願い致します。
5. 会食
6. 委員会報告
社会奉仕委員会 福田青少年委員長
①インターアクト研修旅行(福島)開催報告
②秋のライラ募集の件
7. 幹事報告
○定例理事会報告
①守口市民まつり協賛の件(承認)
②9月親睦食事会の件(承認)
③「秋田豪雨災害支援金」依頼の件(承認)
(募金実施1回目¥16000円)
④秋のライラの件(承認)
元・現米山奨学生に声掛けをする。
○例会休会連絡 8月17日(木) 定款休会
○事務局閉局連絡 8/14~8/16夏季休暇
8/17 有給休暇取得
○次回開催案内
次回の例会開催日は8月24日(木)です。
親睦食事会場は「マジョリカ」、アゴーラでの例会終了後に移動します。
出欠の変更は8/22(火)15:00までに事務局までご連絡下さい。

8. 出席報告(会員総数19名・休会1名)
8月10日 出席11名 欠席8名 出席率61.11%
メイクアップ報告なし
9. 会長の時間
10. 本日のプログラム
担当：会員組織委員会
卓話：クラブフォーラム
テーマ「会員増強について」
パネラー 元古 隆司増強委員長

11. 閉会 会長
○例会前の会合 定例理事会

会長の時間 ◆日本のロータリー

わが国最初のRCは、1920年10月20日に創立された東京RCで、翌年1921年4月1日に、世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟が承認されました。

日本でのRC設立については、ポール・ハリスの片腕としてロータリーの組織をつくり海外拡大に情熱時に取り組んだ初代事務総長チェスリー・ペリーと、創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先達の功を忘れることができません。

その後、日本のロータリーは、第2次世界大戦の波に洗われて、1940年に国際ロータリーから脱退します。戦後1949年3月になって、再び復帰加盟しますが、この時、復帰に尽力してくれたのが国際ロータリーの第3代事務総長ジョージ・ミーンズでした。

その後の日本におけるロータリーの拡大発展は目覚ましいものがあります。ロータリー財団への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものになりました。現在、日本全体でのクラブ数は2,216、会員数84,112(2023年4月末現在)となっています。

(ロータリーの友7月号「ロータリーとは」より抜粋)

8月の休会日 8/31(細則休会)

次回例会 2023年 9月7日(木) 第942回

卓話担当：国際奉仕委員会 水谷会員

卓話 クラブフォーラム

テーマ「会員増強について」

パネラー 元古会員増強委員長

現在、会員数が19名となり、本日の出席者も11名となっています。このような状況を打開するためには、会員増強しかありません。先日、若手会員(有志)による「会員増強の会」を例会後に開催し、熱の入った意見を交わしました。本日のフォーラムでも、増強の秘策があれば出して頂きたいと思ひますし、従来のご意見でも結構ですので、様々な意見を交わして頂き、会員増強に向けて活動していきたいと思ひますので、よろしくお願ひします。

A テーブルの意見

- 女性の会員候補者への声掛け
(江端・小林)
- 納税協会の会員にアタックする(柳本)
- 退会した人(当クラブ元会員)に声をかけ再入会へ誘う
- 元ロータリアンのご家族への声掛け

B テーブルの意見

- 地道に当たっていくしかない
- 各種団体(JC・商工会議所等)にお願いに行く
- JC等に入会者を紹介(年齢的に若すぎる候補者の場合)して、その見返りにロータリー入会者を紹介してもらう
- 例会見学に来てもらう
※親睦例会時に候補者を集めて来てもらう。その後2次会等へ誘う。

C テーブルの意見

- とにかく声をかける
※飲食を一緒にして、ゆっくりロータリーの話をする
- 候補者1人では来づらい場合もあるため、2~3名を一緒に誘って話をする
- 退会された方の知り合い(息子さんや娘さん等)に声掛け
※退会された方を知っている会員に声掛けをしてもらう

委員長のまとめ

様々なご意見を有難うございました。本日はいただいたご意見を有効に活かし、会員拡大していきたいと思ひますので、皆様のご協力をお願いします。

◆ガバナーメッセージ

『会員増強・新クラブ結成推進月間』

会員数減少に歯止めがかからない我が国のロータリーにとって、会員増強は最大の課題です。この先10年間で、わが国の人口はほぼ大阪府の人口に匹敵する約800万人も減少するとの予測もあります。このような逆風の中、私たちは会員増強に努めなくてはなりません。

「多様性・公平さ・

インクルージョン」(DEI)

多様性で日本のロータリーで最も問題となるのは年齢と性別です。当地区のロータリークラブの年齢分布をみると、大半が50歳以上であり50歳以下はごくわずかです。女性会員の割合は約9%(世界平均26%)です。

公平さとは、各個人がニーズや事情に応じて様々なレベルのサポート・機会・リソースを得られるようにすることです。日本のロータリーでは、若い人や女性の入会機会とリーダーへの登用機会が少ないことが問題です。

インクルージョンとは帰属意識のことであり、「すべての人が自分が大切にされていると感じる」ことへの配慮を必要とします。DEI行動規範の遵守が求められます。

開かれたインクルーシブなクラブ造りを目指し、若い人や女性の入会促進に努めましょう。

DEI推進に向けて次のような方法があります。

- DEIコミットメントを文章化して、ウェブサイト、会報に掲載する
- DEIに焦点を当てた例会を実施する
- インクルーシブなクラブになるための担当委員会を立ち上げる
- 会員満足度アンケートを実施して、会員の声をフィードバックする
- 四つのテストにある「みんなに公平」の実践のため、インクルーシブで変化を取り入れることが出来るクラブづくりを目指す

私たちロータリアン、ローターアクターは、「世界を変える行動人」なのです。会員減少、会員の高齢化に悩む今こそ、自信と誇りをもって会員増強、新クラブ結成に努めましょう。

(ガバナー月信8月号)

「ガバナーメッセージ」より抜粋)